

第6回 食と環境フェア 特別号

平成21年3月22日、フェアも恒例となり学区内の幼稚園・保育園の園児たちが制作した色あざやかな食と環境【フ】工【ア】の看板と、会場内の食育ぬりえが来館者を迎えて賑やかに始まりました。各ブースの出店・展示・体験【ナ】、会場準備・案内などをしている実行委員は、フェアでいること伝えたいことなどを実行委員会を通して準備してきました。高松中学校の美術部の生徒さんにポスターを描いてもらいました。公民館全館を使ってのフェアは、単なる楽しい、美味しいだけのお祭りではなく、私たちの食生活や、身の回りの環境や健康について考えてみるきっかけになつたり、地域を見

今年も、小学生の《10円フリーマーケット》を開き、子ども達に、もっと物の大切さや「もつたいなし」という気持ちで環境のことを考えてもらつたりかけになつたり、フリーマーケットで人と話をしたり、やり取



高松地区版

健 康 市 民 おかやま 21 NEWS

第6回食と環境フェア
を終えて

直したり、発見したりする場で
もあると思っています。

第11号

平成21年5月1日発行
発行・発行人
北市民健康づくり高松会議
連絡先
岡山市北区谷万成2-5-33
北保健センター
電話 086-251-6515

りをする中で地域の人と触れ合ふ場になることを期待しました。そして駐車場は子ども達や親子連れの活気で賑わいました。また高松農業高校の花の苗や鉢植えは、あつという間に買われていました。愛育委員さん達の折り紙や老人クラブの竹細工を使つた昔懐かしい《工作コーナー》(福祉室)も、多くの親子の姿が見られ、熱心に取り組まれていた大人の姿も印象的でした。そして、ほつと一息、ゆつたりとしたスペースを用意していた甲斐があつたほど盛況でした。美味しい豚汁やおにぎりを求めてこられた方もあり、例年以上の数量を作つてお待ちしていました。甲斐があつたほど盛況でした。《和カフエ》では、抹茶や「ナビ」と一緒に手づくりのドーラ焼きを「美味しい」と言ってください、栄養改善の方々の側で前日から準備した苦労が報われました。2階の健康「ナーや環境の「ナーや」では、問題に 관심が高い今の時代を再認識するほどの多くの方が訪れ、熱心に質問もされています。

食と環境フェア実行委員長
堤 知美



も、公民館を初めとして、多くの関係団体の協力と支えがあることです。スタッフの一人ひとりが家族や友人に声を掛け、広げようとしてくださったご苦労にも頭がさがりました。今後とも地産地消、更に安心して住みよい地域を目指してフェアが発展していくことを願っています。

好評だった昼食

高松地区の4学区栄養改善協議会は400食の豚汁と36Kg(2斗4升)のお米で800個のおにぎりを作りました。

前日の準備は、栄養委員が手際良く下準備し2時間程度で完了、当日おにぎり班はJA女性部のご協力で加工場を使用させていただき一度に沢山炊飯でき公民館に運びました。2種類のおにぎりを2個セットでケースに入りました。豚汁は、10個の大鍋に分けて野菜に火が通ると味噌を入れて味付けし豚肉を入れ美味しい豚汁が出来上がりました。10時半頃より、続々来店され、「美味しかった、おかわりありますか?」のことばに嬉しくほつといたしました。アクティブホームより軽くて割れない小どんぶりをお借りし給仕や配膳がスムーズに出来助かりました。2時間ほどで完売し「来年も又よろしく御願いいたします」のことばで、今年度最後のイベントに栄養委員約50名が参加し、地域の皆さんとの協力で楽しく出来ました。感謝いたします。



高松ええもん再発見、その名通り高松地域の各団体が力を結集して大々的なイベントとなり、私たちJA女性部もテンペコロッケ、甘酒、味噌、おこわ、廃油手作り石けんなど販売皆さんと楽しくフェアを盛り上げるこ事が出来たかなと思いま

す。

地域の皆さんと横の連帯を持つことも今回大きく感じじること

が出来ました。回を重ねることに、輪が広がつていっていふとを感じます。若いファミリーの参加が多くみられたのも今回の特徴ではないかと思います。

この会の発展に大いに期待が持てます。

JJA岡山女性部高松支部長

秋山 愛子

栄養改善協議会立番字区
青木嘉代子

「健康宣言コーナー」では

自分の健康状態を維持・改善する目的で、健康市民おかやま21で掲げている6分野(食生活・運動・こころの健康・お酒・たばこ・歯の健康)から項目を選択し、それぞれに目標を立ててもらいました。多岐にわたる宣言内容であり、参加者の方々は健康について関心が高いと感じることでできました。いずれのコーナーもたくさんの参加者で賑わい、少しでも自分の健康について振り返る機会になつていれば嬉しいです。



健康づくり高松会議 「ナナ

今年度も、歯科医師会吉備支部、北地域包括支援センター、高松アクティブホーム、あおぞら在宅介護支援センターと合同でブースを開設し、健康について知り、体験してもらえるよう

にしました。

また、平成21年度は高松会議として食生活・運動に加えて「心の健康」にも取組んでいく予定ですので、このニュースレター等で発信をしていきます。よろしくお願いいたします。

北保健センター

保健師 田中 美妃



歯医者さんの「ナ・ナ

今年は、歯科医師会吉備支部より歯科医師5名、歯科衛生士1名の計6名で歯科コーナーを開設いたしました。

歯科相談18名、指型づくり34名、フツ素洗口体験124名の合計

176名の方が参加されました。

年々相談者数 フツ素洗口体験者数が増え、健康や予防の関心度の高さが伺えました。

併設された健康栄養コーナーには私達も参加させていただきま

した。歯科相談18名、指型づくり34名、フツ素洗口体験124名の合計

176名の方が参加されました。年々相談者数 フツ素洗口体験者数が増え、健康や予防の関心度の高さが伺えました。

久門田 義香
歯科医師会吉備支部



昔遊び一作ナ・ナ

「子どもたちの笑顔と歓声」

昨年度と同じく高松地区老人クラブは子どもたちを対象とした昔遊び「工作コーナー」、のぼり立て、おやこクラブと一緒にうつての受付などを担当しました。

のぼりたては前日の午後、公民館の正門、高松派出所横のほか3ヶ所に、当日は雨の天気予報でしたのでフェアが終わるまでなんとか降らないでほしいと願いをこめながらたててまわりました。

工作コーナーではクラブ員の協力を得て竹とんぼ、紙鉄砲、竹笛(2種類)、どんどんじょま、それに環境フェアでもあり使用済みの箸を使った割り箸鐵砲、牛乳パックを使った紙トンボ、ダンボールを小さく切ったぶんぶん廻しなど昨年より多彩な遊びをとりあげました。願いがかなったのか当日の午前中は雨も降らず多くの子どもたちがコトニーに遊びに来てくれ、作り方の説明や手伝いに忙しい程でした。

紙鉄砲のパンと大きな音、竹笛のピートと響く音に思いもしなかつた様子で驚きと歓声があがつていました。ぶんぶん廻しが2才くらいの小さな男の子が色づけをしたり、友達3人で来た小学生の女の子が糸通しに

苦労した末、やっと作りあげた喜びあつたり、中には私どもが顔負けする位ぶんぶんと音とて廻す女の子もいました。



農政局アース

農林水産省は、健全な食生活

の実践に向けて、「何」を「どれだけ」食べたらよいかをわかりやすく示した「食事バランスガイド」を参考に、「栄養バランスの上で優れた「米を中心とした

「日本型食生活」の実践の普及に努めています。

今回は、「栄養バランスが優れ

た日本型食生活で食料自給率向上を!」といつテーマで

40%しかない日本の食料自給率の向

上のため、「食料自給率と日本型

食生活」「食事バランスガイド」

を中心に、「食器表示の見方」、

「農薬の適正使用」等のパネル

展示及びパンフレットの配布を行いました。

来場者は、「栄養バランスの大切さに関心が高いよ

うで、特に料理のレシピが載つ

ています。

本年の食と環境フェアも多くの参加者の多くがその立場で力をだし合った手

づくりの催しになつたことを喜びます。

この仲間に入れていただき年寄りなりにささやかでも協力まで寄りました。

「食」に関するパソコンゲーム・クイズや野菜のアニメビデオ放映には、子どもたちも参加し、親子で「食」について考える貴重な時間を体験していただ

くことができたと思います。

中国四国農政局

消費・安全部地域第一課

高松地区老人クラブ
生石高寿会長 小野恭順

生石高寿会長

地域に根ざしてつくる 「食と環境フェア」

回数を重ねることに、スタッフとビジターの人数が増えていふこの催しに、今年は550名の人々が集いました。素晴らしいイベントをして、人が集まらなければ、その意味も価値も楽しいさも分かち合つことはできません。その意味で本当に喜ばしい限りです。

私が協力できる最後のイベントとなり、人集めには今まで以上に心を配りました。個人的にも30通以上の案内を出し、おいで下さった方々の感想は、「大がかりなイベントで、とてもためになり、楽しかった。」「働いてお食事」「ナード、喫茶」「ナード」とも美味しくて満足だった。等々。「来場の皆様はじめ、高松地区的学校園、各種関係団体の皆さんに、心から厚くお礼を申し上げ、「食と環境フェア」の発展を願っています。

高松公民館前館長
富山 由子

ただいた声を活かしながら、新しいことも取り入れて来年度も取り組みたいと思っています。スタッフとしてやってみたいと思われる方はどうぞ公民館へお越しください。お待ちしております。

高松公民館職員
長畠 郁子

年々参加者が増えてきた「食と環境フェア」。地域の皆様に「食と環境フェア」が定着してきたんだなと実感できました。来年は、参加者として元気なスタッフの皆さんに会いにいき、おいしいものをたくさんいただきたいと思います。

高松公民館前職員
山下 恵子

前日、あるいはそれ以前からみんなで一致団結して協力し合つたからこそ、盛大に開催することができたのだと思います。地域の各団体が手をつなごとに、これまで最高に盛り上がったフェアにすることができました。「みんなで協力し合うことのすばらしさ」を改めて感じられ、とても感動しました。

今回の食と環境フェアでは幼稚園児や小学生の家族連れの方の参加が多くなったように思いました。アンケートなどで寄せてい

愛育委員会地区共同 「食と環境フェア」の感想

第6回「食と環境フェア」が行われ、愛育委員は子どもたちとのふれあいを担当しました。今年は今まで以上にたくさんの方が参加されました。家族連れの方も多く福祉室が一杯になりました。お手玉も一つ、二つと数多くて綾取りも山や川を作つたり、とても賑やかにおこなうことができました。その中では、お手玉も一つ、二つと数多くて綾取りも山や川を作つたり、小学五年生の方が、最近の紙飛行機の作り方を教えてくださつて、とても変わった紙飛行機が出来上がり、皆で飛ばして遊びました。教えたり教えられたりして、昔を思い出しながら楽しく遊ぶことができました。

今年も充実した一日を過ごすことができました。

高松地区愛育委員会長
青木貞子

次回フェアにむけて想つ

地球温暖化は、またなしで日々高まっているこの時代、何とかしなければ、そんな思いで始めた生石愛育の環境学習。やこクラブ（弥生会）支援も、このコンセプトで、すでに10年継続してきた。この環境フェアをいただければと「ユースレター特別号」として発行することにしました。私ごとですが今回をもつて「ユースレター編集」をいたしました。

小中高校さらには農政局の協力をいただけ、「第6回食と環境フェア」が多くの方々の参加のものと開催されました。この催しを地域の方々に関心と興味を持つていただければと「ユースレター特別号」として発行することにしました。私ごとですが今回をもつて「ユースレター編集」をいたしました。

関係者の皆さんに感謝申し上げますとともに今後ます内容の充実により役立つ「ユースレターリー」として発展されることをお祈りしております。

生石愛育委員会長
水田充子



「高松地域の各種団体が公民館を中心にして集結」
編集後記

今日は、市の「ゴミ有料化」一気に関心が高まり、用意した説明書も足りなくなり、説明を求める人も多く忙しくなった。私は少なかつた。